

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成25年8月29日(2013.8.29)

【公表番号】特表2012-520984(P2012-520984A)

【公表日】平成24年9月10日(2012.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2012-036

【出願番号】特願2012-500211(P2012-500211)

【国際特許分類】

F 2 3 R 3/28 (2006.01)

F 0 2 C 3/30 (2006.01)

F 2 3 R 3/10 (2006.01)

【F I】

F 2 3 R 3/28 D

F 0 2 C 3/30 D

F 0 2 C 3/30 Z

F 2 3 R 3/10

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年7月9日(2013.7.9)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項10

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項10】

前記孔(14)が1つの中心軸(27)を含み、この中心軸(27)が噴射ノズル(2)の中心軸(5)と0°～60°の範囲の角度( )で交わり、あるいは、前記部分環状空隙(28)が仮想の部分円錐状の外被(29)を含み、この部分円錐状の外被(29)が噴射ノズル(2)の中心軸(5)と0°～60°の範囲の角度( )で交わることを特徴とする請求項9に記載のバーナ。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0017

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0017】

この流れ通路を部分的環状空隙として形成する場合には、この部分的環状空隙が噴射ノズル中心軸と0°～60°の角度、特に20°～40°の角度で交わる仮想の部分円錐状の外被を形成するのがよい。この部分的環状空隙は好適には複数の部分的環状空隙セグメントを含むことができる。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0047

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0047】

この部分的環状空隙28は符号29で示された仮想の部分円錐状の外被を形成し、この部分円錐状の外被は噴射ノズル2の中心軸5と角度 をなし、 は0°～60°、特に20°～40°である。